

## 令和3年度第4回 瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和4年3月16日（水）10時00分～11時15分

開催場所：瀬戸内市役所 2階 大会議室

出席委員：大東会長（ノートルダム清心女子大学人間生活学部）

    田野副会長（瀬戸内市副市長）

    大上真司 【代理：平本氏】（両備ホールディングス（株））

    佐藤輝彦（東備バス（株））

    尾崎博文（（有）ツルヤタクシー）

    坂本克善 【代理：重田氏】（（有）ネイチャーワールド自動車）

    元浜詳一（瀬戸内市商工会）

    秋山秀行（瀬戸内市観光協会）

    中尾博延（瀬戸内市老人クラブ連合会）

    角房澄恵（生活交通網をつくる会）

    桐畑修一 【代理：近重氏】（西日本旅客鉄道（株）岡山支社）

    山中慎一（中国運輸局岡山運輸支局）

    竹本尚代（岡山県県民生活部県民生活交通課）

    杉田和也（備前市市民生活部）

    池上康範（備前県民局建設部管理課）

出席委員 15名 随員 1名

委任状提出委員 5名

事務局：総合政策部 岡崎（部長）

    企画振興課 青砥（課長）、木村（主査）、鈴木（主事）

## 1 開会

## 2 会長あいさつ

新型コロナウイルス感染症に関して、3月7日にまん延防止等重点措置が解除されたところではあるが、外出を自粛されている方も多く、交通事業者の経営改善の兆しはまだ見えていない状況である。JRの減便、民間路線バス事業者の路線廃止などが現実となりつつあり、地域公共交通を守っていくために重要な局面であると認識している。本日の会議においても、来年度以降も市内公共交通網を維持するための活発な議論を行い、将来の方向性を協議したいと考えている。皆様のそれぞれの立場から多くのご意見を頂き、今後の本市の公共交通の道筋を考えることが大事だと思っている。

## 3 議事

### (1) 地域内交通について

---資料（p 1～2）により、事務局から説明---

#### 《主な説明事項》

- 市営バス事業
- タクシー活用事業
- 前島地域内交通実証事業

会長           ご意見・ご質問はあるか。

会長           地域内交通について、市営バス路線によって乗車人数が違うが、タクシー活用事業のように利用率で見た方がよいのではないか。地域住民を入れると利用率は低くなると思うが、利用者数が妥当かどうかは利用率で見たほうがいいのか。また、路線別に利用促進策があれば教えていただきたい。

事務局       利用率でお示しできるように研究したい。

利用促進については、第2回の会議で示したGTFSデータの活用により、グーグルマップなどでどなたでも乗換検索などをできるようにし、乗りやすい環境を整備することに努めている。

なぜ利用者が少ないのか、移動する方向が違うのか、時間帯が悪いのかなど利用者のニーズと乖離しているところがないか考えながら、ニーズに即したダイヤルートを設定する必要があると考えている。

委員           タクシー活用事業の利用率はそれぞれ40.6%、34.5%、34.5%ということだが、交付枚数における利用枚数の割合だけでなく、交付対象者数における申請者

数の割合はわかるか。全体の対象者にすると利用率はもう少し下がると思う。全対象者のうち申請者の割合の具体的な数字が分かれば教えていただきたい。わからないのであれば後日でも良いのでご教示いただきたい。

事務局 タクシー活用事業については、邑久駅、長船駅から1 km離れている、大富駅とバス停から400m離れているなど要件を決めている。その対象地域内にどれだけの人が居住していて、免許保有率がどれくらいかといった明確な数値はわからない。福祉タクシーは要件が障がい者手帳1・2級等所持者を市が把握しているため、明確に数値が出る。高齢福祉タクシーについても要支援・要介護の認定を受けていることが要件になっているため明確な数値が把握できるため、後日提供する。

会長 タクシー活用事業についても正確な数値は難しいかもしれないが、推計などをして、参考までに提示いただきたい。  
前島地域内交通のアンケートは具体的にはどのようなことを質問するのか。

事務局 利用したことがある方の感想や利用しない方のご意見、さらに利用しやすくするためにはどうしたらいいか、どういったことを望むのかなどを確認したいと考えている。

会長 会議でアンケートの質問内容については議論するのか。

事務局 時期があれば事前に確認して頂きたい。

会長 想定される答えや、委員の皆様からこの際だから聞いて欲しいなど意見もあるため、可能であれば事前に確認して頂きたい。

委員 タクシー活用事業の一部で妊産婦の交通手段確保について、情報提供はどのような方法で実施しているか。妊産婦の方は瀬戸内市外でお産されていることが多く、この制度を知っているか聞くと知らない方が多い。

事務局 タクシー活用事業ということで市のホームページに載せている。妊産婦の申請が年間で1、2件あるかないかで推移している。

副会長 母子手帳交付時に周知しているのではないかと。

事務局 現時点ではできていない。利用促進につながる周知ができるよう、健康づくり推進課と連携していきたい。

委員 前島の方からデマンド運行ができてから便利になったと多くの方が大変喜んでいと聞いている。前島から本土側へ渡ってから、特に医療機関へ移動しやすくなればありがたいという意見を頂いている。

事務局 意見を頂きながら、こういった改善策があるか検討したい。

会長 他にご意見がなければ、次の議題へ移る。

## (2) バス路線の維持確保について

---資料 (p3~4) により、事務局から説明---

### 《主な説明事項》

- 虫明・長島愛生園線の市営バス化

会長 何かご意見やご質問などはないか。令和4年4月1日から市営バスとして運行することになるが、効果的な周知方法などについて、お気づきの点はないか。特に無いようなので次に移る。

---資料 (p5~6) により、両備ホールディングス(株)平本代理から説明---

### 《主な説明事項》

- 両備バス路線 牛窓（邑久駅・北回り）西大寺線の廃止対応について
  - ・現状
  - ・両備ホールディングス(株)から発表のあった内容

会長 ご意見・ご質問はあるか。

副会長 廃止届を出すには地域の合意・同意が必要になるのではないか。

委員 廃止届は原則6カ月前までに届出が必要である。虫明・長島愛生園線のように公共交通会議で廃止の合意があれば、6カ月前ではなく、1か月前までの届出となり、期間が短縮される。交通会議や住民との同意が必須なわけではない。

会長           これまで路線を継続して頂いている。路線を継続するために、どのような工夫をされてきたかお聞きしたい。

委員           過去をさかのぼると、この路線は岡山駅方面への移動を担っていたと認識している。それが西大寺で路線を分担して、東備バスへ低コストで運行できるように移管し、路線を維持してきた。岡山市側ではあるが、川口、西大寺新地、東部クリーンセンター前などは新しい施設が出来たときに経路を見直し、利用が増えそうなところを走らせてきた。一方で、邑久駅～西大寺間は鉄道と並行しており、利用は伸びづらかった。直近ではあるが、路線が長くコストがかかるため、西大寺～邑久駅～牛窓間の系統を減便し、邑久駅～牛窓間の系統へ便数をシフトさせた。国庫補助金をいただくためには最低ラインの便数になっており、コストを削減するだけでは維持が難しい。一方、コロナの影響においても高齢者の利用回復の見通しも立たない状況だと考えている。過去にさまざまな経緯はあるが、その都度路線維持の検討をしてきた。

会長           当該路線は、市営バスとして路線を継続する方針であるため、可能であれば他にご意見を頂きたい。  
特に無いようなので次に移る。

---資料（p 6～7）により、事務局から説明---

《主な説明事項》

- ▶ 両備バス路線 牛窓（邑久駅・北回り）西大寺線の廃止対応について
- ・両備バス路線廃止後の代替手段確保の方針（案）

会長           ご意見・ご質問はあるか。路線は市内で完結するということだが、西大寺方面への移動はどうするのか。

事務局       現状の方針では岡山市側への乗り入れはない。邑久駅または、これ以西で市内の末端バス停の福山橋など、どこまで行くか沿線の住民説明会で確認しながら検討したい。

会長           場合によっては、市営バス路線の大富・邑久駅線を延伸してカバーすることはあるのか。

事務局       大富・邑久駅線は利用者数が少ないこともあり、改善していきたいと考えてい

る。こういった形で運行するかは地域の方と話をしながら検討したい。

委員 予定では市営バスが2路線新設されるということだが、路線カラーなどは検討されているか。既存路線で同じような色になっていてわかりにくいといった意見が上がっているため、わかりやすく示してほしい。8路線になるため、利用者が間違いにくい色使いにしてほしい。

事務局 どのようにすればわかりやすいか利用者目線でデザインを検討したい。

会長 事務局から積極的にこういった意見を聞きたいなどあるか。

事務局 期間が短い中で準備を進めることになる。邑久駅以西の路線の在り方を4月のできるだけ早い時期に住民意見交換会で聞きたい。早めに方針を出すことで、皆さまに安心して頂きたい。1点補足があり、牛窓～邑久駅～西大寺（北回り）線というのは現行では牛窓を出て邑久駅を経由して最終的には岡山市東区の西大寺バスセンターまで行っている。市営バス化する段階で市内完結路線になる。実際には瀬戸内市内から西大寺へ移動する方もいると思うが、市営バス路線へ移行するにあたり、市内完結路線とする。理由は、岡山市へ乗り入れる場合は岡山市の合意も必要になるため、現実的には難しいと判断し、市内完結路線にする方針とした。

会長 虫明・長島愛生園の市営バス化と同様、バス停の位置などは、現状を引き継ぐ方針か。

事務局 その通りである。

会長 両備バス路線廃止後の代替手段の確保について、市営バス化により当該路線を引き継ぐ方針であるが、ご異議のある方は発言をお願いする。

～異議なし～

異議のないことを確認した。事務局は、必要な手続きを進めてください。

#### 4 その他

事務局 次回の公共交通会議を5月中～下旬の開催を予定している。日程等は後日連絡する。会議開催までに、緊急対応の必要があれば書面協議をお願いする場合がある。

#### 5 閉会

副会長 本日の会議では、多くの貴重なご意見をいただいた。両備バスのシンクタンクである地域公共交通総合研究所から発表があったように、公共交通の維持が難しい時期に入っており、その波は瀬戸内市にも影響を与えている。虫明・長島愛生園線は4月1日から市営バスとして運行開始する。牛窓北回り線についても住民、公共交通会議、市議会からの意見を頂きながら、皆様に安心して頂ける体制を取れるようにしていきたい。